

国立公文書館が

大阪府会議長より提出された
「大阪帝国大学設立二関スル意見書」
昭和5年(1930)

独立行政法人国立公文書館(東京都千代田区)は、国の機関及び独立行政法人等から移管を受けた歴史資料として重要な公文書等を永く保存し、皆様にご利用いただくため、閲覧、展示、インターネットによる公開等さまざまな取組を行っている機関です。このたび、昭和46年の開館以来、初めて大阪で所蔵資料展を行います。

大阪大学に

大阪大学アーカイブズは、大阪大学の法人文書のうち歴史的価値を有する文書及び大阪大学の歴史に関する資料を適切に管理するために、平成24年10月1日に設置された組織です。大阪大学総合学術博物館は、平成14年に全国で第8番目の国立大学総合博物館(省令施設)として発足しました。大阪大学の歴史から最新の教育・研究成果までを学内外に紹介する様々な活動を行っています。



通商産業省が実施した「文書整理運動」ポスター
昭和28年(1953)

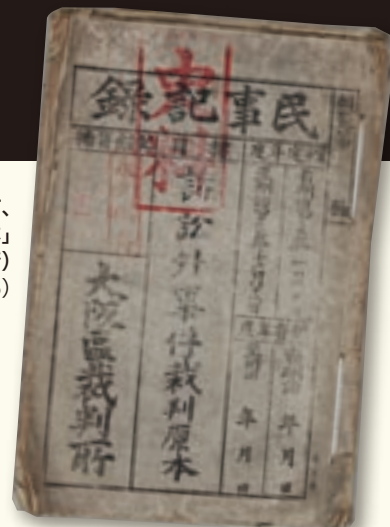
やってきました!

教科書で学んだ歴史資料から、
“これも公文書!?”という意外なものまで...
国立公文書館が所蔵する個性豊かな公文書とともに、
大阪および大阪大学関係資料をご紹介します。



長岡半太郎が
初代大阪帝国大学総長に
任命された際の「任免裁可書」
昭和6年(1931)

大阪大学における保管を経て、
国立公文書館に移管された「民事判決原本」
(大阪アルカリ事件の証拠保全申請)
明治39年(1906)



ミュージアムレクチャー

平成25年2月23日(土) 大阪大学アーカイブズご紹介

平成25年3月2日(土) 国立公文書館ご紹介

大阪大学総合学術博物館待兼山修学館3Fセミナー室
いずれも14:00~15:00 定員60名 当日受付

